

**製品名: AK5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06715**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AK5
別名	AK5; Adenylate kinase isoenzyme 5; AK 5; ATP-AMP transphosphorylase 5
遺伝子 ID	26289.0
SwissProt ID	Q9Y6K8
免疫原	抗血清はヒト AK5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

**背景**

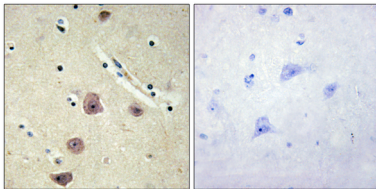
アデニル酸キナーゼ 5 (AK5) ホモサピエンス この遺伝子は、アデニル酸キナーゼファミリーのメンバーをコードします。このファミリーは、アデニンヌクレオチド間のリン酸基の可逆的な転移を触媒することにより、細胞内のアデニンヌクレオチド組成の調節に

関与しています。このメンバーは、いくつかの種の UMP/CMP キナーゼと関連しています。細胞質に局在し、脳でのみ発現します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性:  $ATP + AMP = 2 ADP$ 、機能: ATP を供与体として AMP および dAMP に活性を示します。GTP がリン酸供与体として使用される場合、酵素は AMP、CMP、および少量で dCMP をリン酸化します。類似性: アデニル酸キナーゼファミリーに属します。サブユニット: モノマー。組織特異性: 脳特異的。

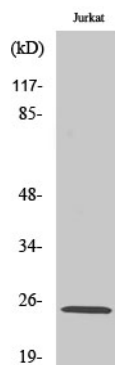
## 研究分野

プリン代謝

## 画像データ



AK5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AK5 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析